

- 1 単元名 「1ねん〇くみ のりものずかん」を作って、せつめいのしかたのひみつをしろう  
教材名 じどう車くらべ

## 2 単元の系統性に基づく指導観について

- (1) 児童の実態 (調査日 平成\*年\*月\*日 調査人数\*人)

〈説明的な文章「しっぽのやくめ」における時間や事柄の順序を考えて読む力に関する実態調査〉

資料から「問い」と「答え」を見付ける問題	人
・文章から「問い」と「答え」の文を3組全て見付けることができた児童	*
・文章から「問い」と「答え」の文を1組だけ見付けることができた児童	*
・文章から「問い」と「答え」の文を含む数文を答えた児童	*
・文章から「問い」と「答え」とは関係のない文を答えた児童	*
・文章から「答え」の文だけを見付けることができた児童	*
・どこにも線を引かなかった児童	*

実態調査を見ると、「問い」と「答え」の文に正しく線を引いた児童は\*人、1段落だけ正しく引いた児童は\*人、前後の文を含めて線を引いた児童は\*人、「問い」と「答え」に関係のない文に線を引いた児童が\*人、「答え」の文のみ正しく線を引いた児童が\*人、全く線を引いていない児童が\*人であった。以上のことから、本学級の児童は、説明的な文章における時間や事柄の順序を考えて読むことに課題があることが分かった。そのため、説明的な文章における時間や事柄の順序を考えて読む力を育てるための手立てが必要であると考えます。

- (2) 教材観

本教材は、児童にとって特に身近な乗り物である自動車を取り上げている。まず自動車の話題に始まり、問いがあって、それに対する答えを幾つかの自動車の具体例に沿って説明していく。自動車は、その「しごと」によって「つくり」が異なり、「そのために」を使うことで、二つの事柄の因果関係を感じられるような説明の仕方になっている。さまざまな役割をもつそれぞれの自動車が、その「しごと（はたらき）」のために、その「つくり（形態・構造）」になっているのだということを明らかにすることは、事物を説明する際の基本である。これらのことから、物語を好む傾向にある児童に説明的な文章にも多く接するように呼びかける教材であり、乗り物図鑑を作るという活動を通して、事柄の順序を考えて乗り物の「しごと」や「つくり」をまとめるのに適した教材であると言える。

- (3) 指導観

本単元では、児童が主体的に考える力を身に付け、第1学年で押さえるべき読みの用語と技能の定着を図ることで、時間や事柄の順序を考えながら読む力を育てていきたい。そこで、『1ねん〇くみ のりものずかん』を作って、せつめいのしかたのひみつをしろう。』という言語活動を設定した。まず教科書教材「じどう車くらべ」を読み、その読み方を使って他社教科書の教材文「くらしをまもる車」を重ね読みすることで、読みの用語と技能を習得できるようにする。並行読書を行い、これまでの読みを生かして乗り物図鑑を作ることで、さらなる定着を図る。

第1次では、担任が言語活動のグッドモデルを提示し、乗り物の「しごと」や「つくり」をまとめた乗り物図鑑を作るという目的意識をもたせる。そして児童と学習計画を立てることで見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

第2次では、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」や問いと答えの関係に着目し、教材文の構成を捉えながら読み進める。各時間の前半で教科書教材を読み、後半で他社教科書教材を

読むことで第1学年で押さえるべき読みの用語と技能の習得を図る。

第3次では、並行して読んできた資料から事柄の順序を考えて乗り物の「しごと」や「つくり」をまとめた乗り物図鑑を作る。これまでの読みを生かした図鑑作りを通して、第1学年で押さえるべき読みの用語と技能の定着を図る。完成した乗り物図鑑は友達と交換し合って読み合ったり、「1ねん〇くみ のりものずかん」として教室に掲示コーナーを設け、自由に読むことができるようにしておいたりすることで、児童の新しい発見の喜びへとつなげ、様々な文章を読むきっかけにしたい。

### 3 単元の指導目標

- 乗り物図鑑を作るために、乗り物の「しごと」と「つくり」を捉え、問いと答えの関係など事柄の順序を考えながら、内容の大体を読むことができる。また乗り物について説明した文章や本を選んで読み、文の続き方に注意しながら、乗り物の「しごと」と「つくり」について乗り物カードにまとめることができる。

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度①	読む能力②	言語についての知識・理解・技能③
ア 書かれている事柄の順序に気を付けて、乗り物について説明した本や文章を読もうとしている。 イ 乗り物図鑑を作るために、乗り物について説明した文章や本を選んで読もうとしている。	ア 乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見つけながら読んでいる。 イ 問いと答えの関係を捉え、文章の構成上の順序に気を付けながら読んでいる。	ア 図鑑を書く際に「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉「そのために」を正しく用いている。

### 5 学校教育指導方針の努力事項との関連

本単元における時間や事柄の順序を考えながら読む力を育てるために乗り物図鑑を作るという言語活動の位置付けは、茨城県学校教育指導方針の国語科の重点「伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを表現する力の育成」のための「具現化のための取組」である「付けたい力を明確にし、言語活動を適切に位置付けた授業の充実」と関連している。

### 6 単元の指導計画（13時間扱い 本時は第7時）

段階	時間	ねらい・学習活動	指導上の留意点と評価規準◎（評価方法）
導入	1	① 乗り物図鑑の紹介と単元目標を聞き、学習の見通しをもつ。	・教師が作成した乗り物図鑑を見せ、学習のゴールを示すことで興味をもたせるとともに学習の見通しがもてるようにする。  「1ねん〇くみ のりものずかん」を作って、せつめいのしかたのひみつをしろう。
	2	② 「じどう車くらべ」の範読を聞き、初読の感想を書く。	◎乗り物図鑑を作るために、乗り物について説明した文章や本を選んで読もうとしている。（①イ：観察） ・疑問や初めて知ったことなど、率直に感じたことを書くよう伝える。 ・初読の感想を学級全体で共有し、学習計画を立てる

		③ 感想と単元目標を基に、学習計画を立てる。		ことに生かす。 ◎乗り物図鑑を作るために、乗り物について説明した文章や本を選んで読もうとしている。(①イ：観察)
追 求	3	④ 自動車はいくつ紹介されているかを確認する。	乗 り 物 図 鑑 を 作 成 す る た め 並 行 読 書 に 取 り 組 む	・全文が一度に見られるようにしたプリントを用意し、それを使って事例の数を数えることで、話の全体を捉えることができるようにする。 ◎書かれている事柄の順序に気を付けて、乗り物について説明した本や文章を読もうとしている。(①ア：観察)
	4	⑤ それぞれの自動車の説明を読んで、同じところ探しをする。		・形式段落で番号を付け、文章を分けて提示する。 ・それぞれの自動車の説明の仕方に目を向け、「しごと」と「つくり」で一まとまりであることに気付かせる。 ・どの自動車も、「しごと」と「つくり」の文をつなぐ言葉は「そのために」であることを押さえる。
		⑥ 「くらしをまもる車」を読んで、前半で学習した内容を確認する。		・「じどう車くらべ」と同じように「しごと」や「つくり」があるかどうかを気を付けて読むよう促す。 ・教師も読んで聞かせ、「しごと」と「つくり」について書いてあるか尋ね、確認する。
	5	⑦ 前半の三つの段落は必要であるか考え、問いの段落であることを確かむ。		◎乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見付けながら読んでいる。(②ア：発言・プリント)
		⑧ 「くらしをまもる車」を読んで、前半で学習した内容を確認する。		・最初の三つの段落が必要ないのではないかと投げかけ、三つの段落には意味があり、問いの役割があることをしっかりと押さえる。 ・「じどう車くらべ」同様に問いの役割をもつ段落があるかを探しながら読むよう助言する。
	6	⑨ バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取る。		◎問いと答えの関係を捉え、文章の構成上の順序に気を付けながら読んでいる。(②イ：発言・プリント)
		⑩ 「くらしをまもる車」を読んで、前半で学習した内容を確認する。		・問いの文を二つ提示し、「しごと」と「つくり」がそれぞれの答えになることをしっかりと押さえる。 ・救急車の「しごと」と「つくり」を押さえる。
7	⑪ トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。	◎乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見付けながら読んでいる。(②ア：発言・ワークシート)		
	⑫ 「くらしをまもる車」を読んで、前半で学習	・ワークシートを使って「しごと」と「つくり」を書き抜き、大事な言葉を落とさないようにする。 ・消防自動車の「しごと」と「つくり」を押さえる。 ◎乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見付け		

		した内容を確認する。	ながら読んでいる。(②ア：発言・ワークシート)
	8	⑬ クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 ⑭ 「くらしをまもる車」を読んで、前半で学習した内容を確認する。	・教科書の挿絵と違う絵を提示することで、違いに気付かせ、叙述に着目できるようにする。  ・ゴミ収集車の「しごと」と「つくり」を押さえる。 ◎乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見付けながら読んでいる。(②ア：発言・ワークシート)
	9 構	⑮ それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を書いたカードを分類し、文の構造を捉える。 ⑯ 「くらしをまもる車」を読んで、前半で学習した内容を確認する。	・問いの順序と同じ順序で答えが示されていることを丁寧に確認する。 ◎問いと答えの関係を捉え、文章の構成上の順序に気を付けながら読んでいる。(②イ：発言・プリント) ・「くらしをまもる車」でも問いの順序と同じ順序で答えが示されていることを押さえる。
ま と め	10 11	⑰ はしご車の「しごと」と「つくり」を考えて書く。	・車の色を観点に加えた説明のバッドモデルを示し、「しごと」と「つくり」の関係に気付かせる。 ◎乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見付けながら読んでいる。(②ア：発言・ワークシート)
	12 13	⑱ 自分が並行読書から選んだ乗り物の乗り物カードを作成する。	・教師が図鑑を教材文と同じ型に書き換えた資料から選んでも、図鑑や本から選んでもいいことを助言する。 ・作成した乗り物カードはグループで交流し、アドバイスし合えるようにする。 ◎乗り物図鑑を作るために、乗り物について説明した文章や本を選んで読もうとしている。 (①イ：観察・チェックカード)
		⑲ 作成したカードを分類し、「1ねん ○くみ のりものずかん」を作る。	・児童が作成した乗り物カードをもとに、自動車や電車、船などの分類をして数巻に分けてまとめる。 ・図鑑を読んで簡単な感想を書き、交流する。 ◎乗り物の「しごと」と「つくり」を文章から見付けながら読んでいる。(②ア：発言・乗り物カード) ◎図鑑を書く際に「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉「そのために」を正しく用いている。 (③ア：乗り物カード)

## 7 単元の指導計画

### (1) 本時の目標

- 問いと答えの関係を捉え、文章の構成上の順序に気を付けながら読むことができる。(②イ)

### (2) 準備・資料

- ・課題掲示用紙 ・全文掲示物 ・全文プリント（児童用） ・挿絵 ・ワークシート
- ・Aファイル ・発表ボード，マーカー ・センテンスカード

(3) 本時の展開 PW：パーソナルワーク GW：グループワーク CW：クラスワーク

	学習課題・学習活動	指導の手立て	◎評価規準（評価方法） ・学習活動を見取る視点 ☆ラーニングスキル
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           どんなじゅんじょでせ            つめいしているだろう。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習の流れについて学習コーナーをもとに振り返る。</li> <li>・仲間分けゲームをすることを伝え、関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画や全文掲示をもとにこれまでの学習を振り返っている。</li> </ul>
考える	2 仲間分けをする。(PW)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」をカードにしておく。</li> <li>・数枚のカードを置いて見せ、表の観点到気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文プリントやこれまでのワークシートを振り返り、カードを置く位置を考えている。</li> </ul>
深める	3 どんな観点到仲間分けをしたのか交流する。 (1) 考えを交流する。(GW) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広い荷台はトラックのつくりだからオに置こう。</li> <li>・一番上はバスと自動車だよ。</li> <li>・重いものをつりあげるのはクレーン車の仕事だからウ。</li> </ul> </div> (2) 考えを交流し、確認する。(CW) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【予想される児童の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上からバス，トラック，クレーン車の順番だよ。</li> <li>・どの車も「しごと」「つくり」の順番で書いてある。</li> <li>・答え①答え②になっている。</li> </ul> </div> (3) 説明の順序についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とい①とい②とおなじじゅんじょでこたえ①こたえ②がくる。</li> <li>・といとこたえはおなじじゅんじょになる</li> </ul> </div> (4) 「くらしをまもる車」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文プリントやこれまでの学習を振り返りながら、「これは〇〇のしごとだから。」 「これは〇〇のつくりだから」と、なぜそこに置くのかきちんと説明するよう促す。</li> <li>・自分とは考えの違う友達の意見もよく聞くよう促す。</li> <li>・カードの裏を「しごと」と「つくり」で色分けして、文の構造を視覚的に捉えやすくする。</li> <li>・答えも問いと同じ順になっていることを押さえる。</li> <li>・書き出しを与え、説明の順序についてまとめる。</li> <li>・ワークシートの表には自分の言葉でまとめられるもの、裏にはヒントを入れたものにしておき、児童が選択できるようにしておく。</li> <li>・グループ用のボードの裏に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜカードをその位置に置いたのか友達に説明をしている。</li> <li>・自分の考えと友達の考えを比較しながら聞いている。</li> <li>・友達の意見をもとに自分の考えを見直している。</li> <li>・完成された表を見てどのような順序になっているのかを見付けている。</li> <li>・ワークシートに説明の順序をまとめている。</li> <li>☆学習したことを自分の言葉でまとめる。</li> <li>◎問いと答えの関係を捉え、文章の構成上の順序に気を付けながら読んでいる。 (②イ：発言・ワークシート)</li> <li>・理由を話しながらカード</li> </ul>

	の順序について考える。	「くらしをまもる車」の分類表を用意しておき、活動にスムーズに取り組めるようにする。	を置いている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の意見を聞いている。</li> <li>・ 問いと答えの順序に気付いている。</li> </ul>
振り返る	4 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習課題と学習内容を振り返り、本時に分かったことや話し合っ気付いたことを書くよう伝える。</li> <li>・ 本時で学習した説明の順序について、第3次の図鑑作りでも生かすよう伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習課題と学習内容から振り返りを書いている。</li> </ul>